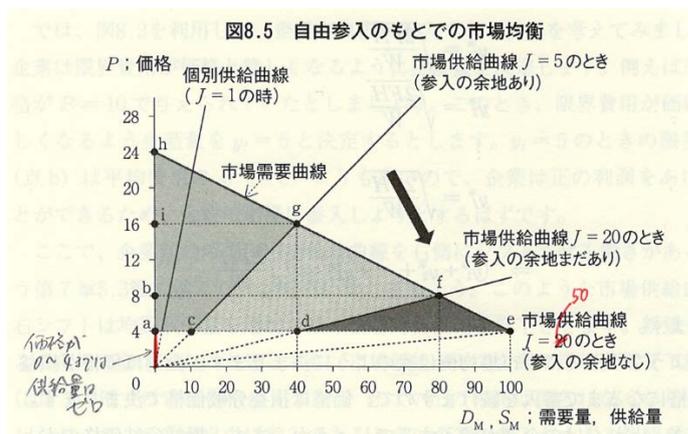


第1版第1刷において、下記の部分に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、訂正いたします。

1. 54 ページ 上から 8 行目 東京築地（2016 年より豊洲に移転）⇒ 東京築地（2018 年より豊洲に移転予定）
2. 90 ページ 図 5.8 $v_1 = 19$ の場合 ⇒ $\bar{U}_1 = 19$ の場合
3. 122 ページ 下から 5 行目 (6.3) 式を費用関数といいます ⇒ (6.3) 式の左辺 Wl を TC と書き直した式： $TC = \frac{W}{2H}y^2$ を費用関数といいます
4. 125 ページ 上から 10 行目 $Wl = l = y^2$ ⇒ $TC = y^2$
5. 125 ページ 下から 1 行目 費用関数は $Wl = \frac{W}{2H}y^2$ ⇒ 費用関数は $TC = \frac{W}{2H}y^2$
6. 127 ページ 図 6.2 の縦軸 Wl ; 費用 ⇒ TC ; 費用
7. 136 ページ 例題 6-5 の 2 行目 $200l =$ ⇒ $TC =$
8. 136 ページ 例題 6-6 の 2 行目 $200l =$ ⇒ $TC =$
9. 161 ページ 例題 7-6 の問 1 の 3 行目 需要曲線、供給曲線 ⇒ 市場需要曲線、市場供給曲線
10. 161 ページ 例題 7-6 の問 2 の 4 行目 需要曲線、供給曲線 ⇒ 市場需要曲線、市場供給曲線
11. 173 ページ 上から 7 行目 三角形 cde ⇒ 三角形 ohg
12. 175 ページ 下から 2 行目 $(V - Z)Q_T$ ⇒ $(V - Z)Q_T$
13. 177 ページ 下から 7 行目 利ざやの総額 (VQ_T) の割合 ⇒ 利ざやの総額 (VQ_T) の割合
14. 186 ページ 図 8.5 の点 e $J = 20$ の時（参入の余地なし）⇒ $J = 50$ の時（参入の余地なし）
15. 186 ページ 図 8.5 の縦軸（下図参照）



16. 192 ページ 図 8.6 の縦軸ラベル 限界収入 \Rightarrow 限界収入

17. 192 ページ 図 8.6 の市場需要曲線 $P = \frac{B}{A} - \frac{B}{KA} D_M \Rightarrow P = \frac{B}{A} - \frac{1}{KA} D_M$

18. 230 ページ 例題 6-2 の 1 $Wl = \Rightarrow TC =$

19. 230 ページ 例題 6-2 の 2 $Wl = \Rightarrow TC =$

20. 230 ページ 例題 6-2 の 3 $Wl = \Rightarrow TC =$

21. 230 ページ 例題 6-3 の 1 $Wl = \Rightarrow TC =$

例題の解答 (更新日 2016 年 3 月 13 日版) 正誤表

1. 11 ページ 例題 3-1 私的評価額 \Rightarrow 留保価格

2. 15 ページ 例題 4-3 の 2 $60 = 225N \Rightarrow 60 = 220N$